

いう名の最悪—緩和医療の本質—と題してご講演をいただきました。

また、昨年7月に岡山県が経験した災害を教訓とした特別企画教育講演「災害時における診療業務の継続」について、SOMPOリスクマネジメント株式会社主任コンサルタント 北本 渉様よりご講演をいただきました。さらに、一般演題8題、要望演題7題、ポスター発表7題、クリティカルパス展示3題と多くの発表をいただき、盛会のうちに終了いたしました。本学術集会開催にあたりご支援、ご協力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

第12回宮崎県支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構都城医療センター

院長 冷牟田 浩司

2019年2

月2日(土)、宮崎県都市ウエルネス交流プラザにおいて日本医療マネジメント学会第12回宮崎県支部学術集会を開催しました。



会場風景

メインテーマを「これからの医療連携の在り方」と題して、特別講演2題(松田晋哉先生、山口育子様)、ランチョンセミナー2題(新屋俊明先生、Wマコト様)より、様々な医療連携の在り方、コミュニケーションやパートナーシップについてご講演いただき、大変好評でした。地方都市での開催であること、インフルエンザの流行冷めぬ中、参加者が少ないのではないかと心配していましたが、一般演題(60題)は1題の取り消しもなく、一般参加者222名、スタッフ71名(当院職員と学生)と想定以上に盛会裏の学術集会になりました。

学生や若い医療スタッフにとっても、学術集会の雰囲気や発表の機会は貴重な経験になったことでしょう。支部活動の意義はここにあると再認識しました。

開催にあたり、ご支援をいただいた多くの関係各位に御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

第19回東京支部学術集会

学術集会会長：国際医療福祉大学大学院医学研究科教授 池田俊也

第19回東京支部学術集会は2019年2月11日(月・祝)、「チーム医療と働き方改革」をテーマに、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパスで開催されました。

日本医療マネジメント学会副理事長・国際医療福祉大学大学院教授の武藤正樹先生による特別講演「働き方改革 今でしょ」に引き続きシンポジウム1「チーム医療と働き方改革」が行われました。その後、ランチョンセミナー「地域医療に向けたリアルワールドデータの活用と今後の展望」、シンポジウム2「データに基づく医療マネジメントの展開」、シンポジウム3「地域連携クリティカルパスとICT～その土壌づくりを中心に～」など盛りだくさんのセッションとなりました。

一般演題では、学術集会テーマである「チーム医療と働き方改革」にふさわしく、医療安全、看護管理、薬剤管理など多彩な演題発表が21件ありました。ご参加いただいた約250名の皆さまに厚く御礼申し上げます。

第19回長崎支部学術集会

学術集会会長：独立行政法人地域医療機能推進機構

諫早総合病院副院長 山口広之

2019年2月16日(土)、諫早市のながさき看護センターにて、第19回長崎支部学術集会を開催し、200名を超える方々に参加いただきました。



会場風景

今回はテーマを「改めて考えよう、医療の安全・医療の質」とし、特別講演では、長崎大学大学院工学研究科システム科学部門教授・副学長 インフラ長寿命化センター長 松田 浩先生と独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)中京病院院長 絹川常郎先生のお二人の先生にご講演いただきました。

また、シンポジウムは、「連携を通して高める地域医療の質」と題して、開業医、勤務医、地域医療連携室の立場から4名のシンポジストの方にご講演頂き、活発なディスカッションを行いました。

一般演題は口演49題と、予定を上回る応募と発表により三会場を使用し、質疑や意見交換が積極的に行われ、盛会のうちに終了いたしました。

第18回千葉支部学術集会

学術集会会長：社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院副理事長 矢田高裕

2019年2月23日(土)に日本医療マネジメント学会第18回千葉支部学術集会をホテルポートプラザちばで開催致しました。